

「地域がはぐくむ『かごしまの教育』県民週間」の取組

さつま町立山崎小学校

学校自由参観

「県民週間」の期間中は、自由参観として日頃の子どもたちの学校生活の様子を保護者や地域の方々に見ていただくために、授業参観や学校行事を計画し、広く参加を呼びかけています。また、地域ぐるみで子どもたちの心の育成に取り組むために、期間中の一日を「心の教育の日」として位置付け、全学級が道徳の授業公開を行っています。

本年度からコミュニケーション・スクールの試行を始めた本校では、この期間中に学校運営協議会を開催し、授業参観等を通して情報交換や学校運営についての意見をいただいたり、ご理解やご協力を深めていただいたりするようにしています。

校区文化祭と合同開催の学習発表会

日曜参観日として、午前中に小学校の学習発表

会、午後を校区文化祭として地域と合同で行っています。体育館いっぱい

の保護者や校区の方々に、子どもたち

は学習の成果を発表します。年々児童数、P戸数も減少してきている状況の中で、これだけ大勢の皆さんの前で発表の機会を得られること、また、地域の方々に子どもたちの成長を目にしていた

けることは大変ありがたく、子どもたちにとって貴重な体験です。参観に



親子のふれあい給食(1年生)

来られたたくさんの方々が、「○○さんの孫ね」もう〇年生ね。頑張ったねえ。」など、子どもたちに声をかけ、褒め励ましてくださると、子ども

ふれあい給食

全学級で、保護者と子どもたちが一緒に給食を食べながらふれあう場を設定しています。中にはおじいさん、おばあさんも参加していただいて、とても和やかな給食です。ふれあいがメインではありませんが、子どもたちの給食の準備の様子から食事や片付けの様子も見ていただきます。保護者の皆さんは、自分たちが子どもの頃の給食を懐かしみながら、親子や親同士の食を通じた学びやふれあい、情報交換を行っています。

読み聞かせ

PTA研修部が中心になって、朝の読書の時間に読み聞かせを行っています。数日前から、子どもたちの顔や反応を思い浮かべながら読む本を選ぶのも、楽しみな様子です。父親あり、母親あり、各学級でそれぞれ味のあ

県民週間をきっかけに

多くの方々に学校に関心をもつていただいたり、様々な交流をもつたりすることで、子どもたちや学校をより知っていただくとともに、子どもたちの体験や視野を広げ、教育活動をよりよいものにしていきたいと思います。

今後「地域とともにある学校」をめざして、本校校歌にうたわれる「郷の力芽」である子どもたちが、地域を興す力となるよう学校、保護者、地域の連携をさらに深めていきたいと思います。

(教諭 杉川 尚子)



校区文化祭と合同開催の学習発表会

学校紹介

本校は、児童数72人、P戸数56戸、川内川とその支流である久富木川のほとりにある、豊かな自然に囲まれた学校です。学校の隣には、地頭仮屋跡があるなど歴史ある土地でもあります。保護者や地域の方々の学校に寄せる思いも熱く、大変協力的で、学校、保護者、地域が連携して子どもたちの健全な育成に努めています。